

《令和8年第1回大空町議会定例会一般質問通告内容集約書》

【3名3件】

[令和8年2月25日整理・大空町議会事務局]

質問日	順	質問者	質問事項	頁
3月4日 (水曜日)	1	上地 史隆 議員 (質問時間 30分) 質問受付： 令和8年2月24日 午後4時59分	1. マイナンバーカードの取り組みについて	1
	2	鈴木 秀之 議員 (質問時間 30分) 質問受付： 令和8年2月25日 午後1時49分	1. 持続可能な介護提供体制について	2
	3	森賀 祐司 議員 (質問時間 30分) 質問受付： 令和8年2月25日 午後3時7分	1. 小中一貫教育における取り組みについて	3

※ 一般質問は「一問一答方式」にて、通告順により行われます。

※ 傍聴席入口に掲示の傍聴規則を順守の上、携帯電話の電源はお切りくださるよう御協力をお願いします。

※ 御不明な点などがありましたら、議会事務局までお問い合わせください。

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. マイナンバーカードの取り組みについて	<p>政府は令和7年12月5日に、マイナンバーカードの保有枚数が同年12月3日時点で1億2万9,804枚となり、初めて1億枚を突破したことを発表しました。そのようなことから大空町の現状はどのようなになっているのか、下記の項目について伺います。</p> <p>(1) 町内のマイナンバーカードの交付率の現状について</p> <p>(2) マイナンバーカードの機能と受けられるサービスについて。</p>	町長

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 持続可能な介護提供体制について	<p>本町では、二つの特別養護老人ホームが運営されており、これまで両地域の高齢者福祉を支える重要な拠点として役割を担っていただいております。</p> <p>しかしながら、近年は介護人材の確保が難しく、ショートステイ利用の調整や施設運営の厳しさも見られるなど、従来と同じ形での運営継続に課題が生じていると伺っております。</p> <p>両施設は、それぞれの地域にとって安心の基盤であり、そのあり方の検討に当たっては、単なる効率性の議論ではなく、住民感情にも十分配慮しながら、両地域関係者の相互理解のもとで進めていくことが不可欠です。</p> <p>今後、人口減少が進む中で重要なのは、施設を個別に維持するという発想だけではなく、それぞれの特性を活かした役割の明確化と機能連携を図り、地域全体で高齢者を支える体制へと発展させていくことが重要と考えます。</p> <p>現在、介護保険事業計画の改定時期を迎えております。この計画は、本町の将来の介護提供体制の方向性を定める極めて重要なものです。</p> <p>将来人口や人材確保の見通しを踏まえ、現実に即した持続可能な介護施設体制を計画に位置付ける必要があるとの観点から、次の項目について伺います。</p> <p>(1) 本町の介護提供体制の課題分析について 本町の将来人口及び介護人材の見通しを踏まえ、現行体制のまま推移した場合の課題について、どのように分析しているのか。</p> <p>(2) 施設・在宅サービス・生活支援体制の将来展望について 施設・在宅サービス・生活支援を地域全体で支える体制づくりを次期介護保険事業計画の中で課題として位置付け、地域介護福祉の中核施設として両施設の運営連携の強化を図る調査、検討をしてはどうか。</p> <p>(3) 持続可能な介護体制の構築について 地域の将来に関わる重要な政策テーマであることから、行政が主体となり、事業者や地域住民を交えた検討の場を設け、持続可能な介護体制の構築に向けた議論を進めてはどうか。</p> <p>以上、本町の持続可能な地域づくりの観点から、介護提供体制の将来展望について町長の見解を伺います。</p>	町長

質問事項	質問の要旨	質問相手
<p>1. 小中一貫教育における取り組みについて</p>	<p>近隣の自治体で、小学校と中学校を統合して義務教育学校として一か所に集約する議論が行われています。</p> <p>昨年12月の定例会において町長は、将来的には東藻琴地区、女満別地区ごとに一つの校舎で学ぶ小中一貫教育を目指していくとの事でしたが、既存の校舎の利用方法と将来の学校の整備に関して考えを伺います。</p> <p>(1) 義務教育学校と小中一貫校の違いとそのメリットとデメリットについて</p> <p>(2) 耐震化工事が行われているが東藻琴小学校、東藻琴中学校、女満別中学校は供用開始から相当年数が経っています。今後、どの施設を利用していくのか。また、建て替え時期について考えているのか</p>	<p>町長 教育長</p>